

開催	番	馬名	性	齢	人	単勝	父	父母父系統	母父系統	祖母父系統	タイム
2022	2	ジャンダルム	牡	7	8	20.3	Kitten's Joy	ロベルト系	サンデーS	ダンチヒ系	1.07.8
良	7	ウインマーベル	牡	3	7	20.0	アイルハヴァアナザー	ロベルト系	Pサンデー系	ニジンスキー系	1.07.8
32.7/35.1	6	ナランフレグ	牡	6	5	18.6	ゴールドアリュール	ヌレイエフ系	ロベルト系	フォルティノ系	1.08.0
開催	番	馬名	性	齢	人	単勝	父	父母父系統	母父系統	祖母父系統	タイム
2021	4	ピクシーナイト	牡	3	3	5.3	モーリス	サドラズ系	リファール系	プリンスリーG系	1.07.1
良	12	レシステンシア	牝	4	2	3.4	ダイワメジャー	ノーザンテスト	デインヒル系	サドラズ系	1.07.4
33.3/33.8	1	シヴァージ	牡	6	10	47.5	First Samurai	米ND系	米ナスルーラ系	ミスプロ系	1.07.4
開催	番	馬名	性	齢	人	単勝	父	父母父系統	母父系統	祖母父系統	タイム
2019	8	タワーオブロンドン	牡	4	2	2.9	Raven's Pass	フェアウエイ系	ネヴァーB系	サドラズ系	1.07.1
良	7	モズスーパーフレア	牝	4	3	6.2	Speightstown	ストームバード系	ダンチヒ系	インリアリティ系	1.07.2
32.8/34.3	2	ダノンスマッシュ	牡	4	1	2.8	ロードカナロア	ストームバード系	ダンチヒ系	ロベルト系	1.07.2
開催	番	馬名	性	齢	人	単勝	父	父母父系統	母父系統	祖母父系統	タイム
2016	13	レッドファルクス	牡	5	3	9.2	スウェプトオーヴァ	ダマスカス系	サンデーS	レイズアノ系	1.07.6
良	15	ミッキーアイル	牡	5	2	8.2	ディーブインパクト	リファール系	デインヒル系	ヌレイエフ系	1.07.6
33.4/34.2	4	ソルヴェイグ	牝	3	9	27.1	ダイワメジャー	ノーザンテスト系	グレイS系	ニジンスキー系	1.07.6

中山芝1200mは、スタートから約600m地点までに4mほど下る「下り坂スタート」のコースでございます。また、1200mとして唯一の外回りコースであり、3〜4コーナーの角度が大きいため、コーナー入り口での減速幅も小さくテンの3Fが他場の1200mよりも速くなる傾向がございます。

そして息を入れる所が無いハイペースで直線に入ると今度はJRAで最も急こう配の登り坂が待ち受けており、スピード能力だけではダメ、持続力だけでもダメ。

つまり求められるのは・・・

ハイペースを楽に追走できるスピードの強化はもちろん、持続力やスタミナも強化された配合馬が有利になりやすい舞台。という事になります。

では、具体的に、どの血統がどんな役割を担うのか？以下に具体例を挙げておきます。

#### 【持続力超強化】

フォーティナイナー系  
ポールドルーラー系

#### 【持続力強化+スピード強化】

セントサイモン系(リボー系も含む)  
インリアリティ系  
プリンスリーギフト系、特にサクラバクシンオー系  
エタン系  
キングヘイロー  
フジキセキ  
サンデーサイレンス

#### 【持続力強化】

ダマスカス系  
カロ系  
ブラッシンググルーム系  
米国型ノーザンダンサー系  
ダンチヒ系  
レイズアネイティヴ系  
ヒムヤー系

#### 【底力・スタミナ強化】

ノーザンテストの血

ロベルトの血

【スピード強化+パワー強化】

ミスプロ系

【スピード強化】

サンデー系

ヘイロー系

【主に兩馬場での持続力強化】

ニジンスキー系

ネヴァーベンド系

グレイソヴリン系

#### G1スプリンターズS2023の展開予想

今年の馬場バイアスと想定されるLap(展開)から、過去のデータを検証してみたいと思います。

想定は「軽い良馬場」「前半32秒台のハイLap」で、走破時計は1分7秒台(恐らく前半)と言う内容の予測です。

時計の出やすい軽い良馬場で、前傾LAPになった場合の3着以内馬の脚質内訳は、7頭が逃げ先行、5頭が差し追込み。

差し馬は内枠であったか、4角から直線で外を回さずに馬群を割って伸びて来た馬でした。

※馬場が軽いと、外を回す追込みが絶望的なのは競馬の定説です。

また、差し馬の場合は、母系に欧州型血統を持っており、持久力を活かして末脚を伸ばす「欧州的な伸び」が重要と考えられます。

一方で、先行馬の場合は母系に**ダンチヒ系**の血を持つ馬や父か母父に**米国型ノーザンダンサー系**を持つ馬の激走が見られました。

そして、脚質には関係なく、

**セントサイモン系**の血を5代以内に複数本持っているか、

4代親までに**セントサイモン系**を持つ馬の好走・激走が

多く見受けられます。

馬番	血評価	馬名	SP1	SP2	脚質
1	C	ナムラクレア		欧	上りS
2	E	テイエムスパーダ			前S
3	A	ピクシーナイト		欧	上りA
4	注	ナランフレグ	ss	欧	上りB
5	A	ウインマーベル	ss	dz	上りA
6	B	ママコチャ	ss	欧	前B/上B
7	E	オールアットワンス	ss		上りA
8	E	メイケイエール		dz	
9	B	アグリ		dz	上りS
10	雨	マッドクール		dz	前A
11	E	ジュビリーヘッド			前B
12	E	ドルチェモア			
13	A	ジャスパークローネ			前SS
14	注	エイシンスポッター	ss	dz	上りS
15	D	キミワクイーン			上りS
16	D	モズメイメイ			前S

※SP1、SP2はスパイス血統の意味です。

※「SS」の表記はセントサイモン系の血を持つ馬の意味です。

### 1番ナムラクレア【C評価】

父:ミッキーアイル(ディーブ系)

父母父:ダンチヒ系

母父:ストームバード系(米ND系)

祖母父:欧ロベルト系

曾祖母父:米ミスタープロスペクター

想定通りの馬場・展開になれば、

原則としてディーブの血は割引材料になります。

ただ、父ミッキーアイル自身は逃げて2着に粘りました。

外枠に入ったら「消したろ♪」と思っておりましたが、

内枠に入った「母系に欧州血統」を持つ「上りS馬」となり、

消しにくい存在になってしまいました。

それでも、ミッキーアイル産駒は  
息を入れづらいコース形状の中山1200mは苦手コースであり  
この評価に留めておきます。

2番ティエムスパード【E評価】

父:レッドスパード(米ヘイロー系)

父母父:ストームバード系(米ND系)

母父:アドマイヤコジーン(欧カロ系)

祖母父:マイニング(米ミスプロ系)

曾祖母父:カコイーシーズ(米レイズアネイティヴ系)

レッドスパード産駒が最も苦手とする1200mが中山1200m。

スプリンターズSに挑むハイペース型逃げ馬としては、  
もう少し持続力の強化血統が欲しいところで、  
それが薄いために、馬場が軽く、登り坂が全くない  
「夏の小倉」に良績が偏ります。

前走は阪神で逃げ切りましたが、  
あれはヌル〜いペースの楽逃げの結果で、  
同型のジャスパークローネがいる中山のG1で  
生き残れる可能性は極めて小さいと判断します。

内枠には入りましたが、スタートの速さと  
テンの速さ、二の脚の速さの全てにおいて、  
ジャスパークローネに劣る存在であり、  
逃げ損ねると競馬にならないタイプ。

今回はこの評価になります。

3番ピクシーナイト【評価A】

父:モーリス(欧ロベルト系)

父母父:欧サドラーズ系

母父:キングヘイロー(欧リファール系)

祖母父:サクラバクシンオー(プリンスリーギフト系)

曾祖母父:米ダマスカス系

クロス:ノーザンテースト5×5

欧州色の濃い父系に、スピード強化と、  
持続力強化を重ね合わせた配合の母系。  
底力強化のノーザンテーストをクロスで保持。

シンコウエンジェルの牝系で、このファミリーからは、  
2015年9人気3着のウキヨノカゼが出ております。

本馬自身が21年の優勝馬であり、  
枠順もその時と同じ2枠に入りました。  
問題は本調子に戻っているか否か?でございます。

今回は長欠明け4戦目。  
前走ではようやくメンバー3位の上りを繰り出し、  
復調気配が漂ってきておりますな。

距離短縮好走後の同距離ローテで  
反動の心配はゼロではありませんが、  
このローテで過去にも好走(セントウルS2着)しており  
完全復活があっても驚けません。

#### 4番ナランフレグ【要注意】

父:ゴールドアリュール(Dサンデー系)

父母父:欧ヌレイエフ

母父:ブライアンズタイム(欧ロベルト系)

祖母父:タマモクロス(欧グレイソヴリン系)

曾祖母父:ノーザンテースト

母父ブライアンズタイムは母父がセントサイモン系

高松宮記念の優勝馬で、今年の3着馬。  
内枠に入った欧州牝系の追込み馬になります。

近走は大不振に見える戦績になっておりますが、  
この馬は、母父ブライアンズタイムの影響が強く、  
休み明けは本領が発揮できませんな。

近5走のなかで、唯一休み明けでなかった  
今年のG1高松宮記念では、上り2位で追込むも  
0秒3差の4着と僅差の競馬が出来ておりました。

調教後馬体重がさらに増加しており、  
もうひと絞り欲しい所だとは思いますが、  
スプリントG1での実績ならばメンバー最上位とも言える存在。  
厳重な警戒が必要になると考えております。

#### 5番ウインマーベル【A評価】

父:アイルハヴアナザー(米フォーティナイナー系)

父母父:欧ロベルト系/父の祖母:セントサイモン系

母父:フジキセキ(Pサンデー系)/母父の母父セントサイモン系

祖母父:欧ニジンスキー

曾祖母:欧ブランドフォード×セントサイモン系

スプリンターズSに有用な血統の詰め合わせ配合馬で、  
今年の2着馬でございますな。

道悪は走れないタイプなので、  
前走と3走前の2桁着順は当然の結果と申せましょう。

去年は超内有利馬場に恵まれた部分もありましたが、  
今年の中山9月開催外回りコースは3枠が最有利枠。  
今年も馬場バイアスに恵まれる可能性は十分でございます。

### 6番ママコチャ【B評価】

父:クロフネ(米ヴァイスリージェント系)

父父の母父セントサイモン系

母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

祖母父:サンデーサイレンス

曾祖母:欧ND系×欧ナスルーラ系

ソダシの全妹

父が米国型ノーザンダンサー系は、  
直近の2年で、人気薄の2頭が馬券に絡んでおります。

3枠の差し馬(好位差しも含む)が恵まれている  
今年の9月開催中山芝1200mであり、  
展開からも恵まれそうな位置を取れそうなタイプ。

川田Jが横車を押してまでカツマJから鞍を奪ったと  
噂が出るほどの乗り替りで、それを受諾した陣営も  
ここで何とかG1タイトルを・・・  
と考えての事でございますなあ。

前走は外有利馬場に恵まれながらもジャスパークローネを  
捉えきれず、能力的にG1で足りるかどうかの問題と、  
休み明けに距離短縮ローテで好走した反動の不安はありますが、  
持ち人気のある馬が、この程度の人気なら買うべきかと。

### 7番オールアットワンス【E評価】

父:マクフィ(欧ミスプロ系)

父母父:欧ダンチヒ系

母父:ディーピンパクト

祖母父:米ミスプロ系

曾祖母父:リボー系(セントサイモン系)

父がミスプロ系と言うのは良いのですが、

超ハイペースの消耗戦が想定される今回、  
母父のディープの血が歓迎できない材料となりそうですな。

また、根本的な問題として、1200mは合わないタイプ。

#### 8番メイケイエール【E評価】

父:ミッキーアイル(ディープ系)

父母父:ロックオブジブラルタル(欧ダンチヒ系)

母父:ハービンジャー(欧ダンチヒ系)

祖母父:クロフネ(米ND系)

曾祖母父:サンデーサイレンス

母はソダシ・ママコチャの従兄弟

ミッキーアイル産駒は中山1200mが苦手。

また、消耗戦のスプリンターズSでは、サンデーの血自体が  
薄いに越したことはなく、サンデーサイレンスの3×4クロスは  
ここでは邪魔者となりそうでございますな。

また、2歳重賞を勝った早熟馬であり、  
5歳になって以降、得意なはずの休み明けでの凡走は  
燃え尽き症候群を感じさせるところ。

前走G1安田記念惨敗組が、穴をあけた事もありますが、  
それは血統的にスプリンターズSに向く配合馬であり、  
血統の裏付けがない本馬が、ココで巻き返すとは  
ちょっと無理筋ではないかと考えております。

#### 9番アグリ【B評価】

父:カラヴァッジオ(欧ストームバード系)

父母父:米ヒムヤー系

母父:ウォーフロント(米ダンチヒ系)

祖母父:ガリレオ(欧サドラーズ系)

曾祖母父:欧ネイティヴダンサー系



父は英愛のスプリントG1を3勝。

※1200mのコモンウエルスCは馬群を割って差し切り勝ち

サンデー系の血を1滴も持たない配合馬ですな。

母系に欧州の持久力血統を持つと言う配合は、  
消耗戦を差しに行く競馬が合っております。

前走はテイエムスパードに楽なペースで逃げられましたが、  
同じような競馬をすれば、今回はチャンスが広がりそうですな。

10番マッドクール【雨が欲しい】

父:ダークエンジェル(欧ND系)

父母父:マキャベリアン(欧ミスプロ系)

母父:インディアンリッジ(欧トゥルビヨン系)

祖母父:デインヒル(欧ダンチヒ系)

曾祖母父:欧サドラーズウェルズ

クロス:アホヌーラ(トゥルビヨン系)4×3

非常に欧州色の強い配合で、  
欧州のスプリント血統アホヌーラのクロスを保持。

時計の掛かる馬場での消耗戦なら  
この馬から勝負でございます。

11番ジュビリーヘッド【E評価】

父:ロードカナロア(欧キングマンボ系)

父母:ストームキャット(米ND系)×セントサイモン系

母父:ディーピンパクト

祖母父:欧ニジンスキー系

曾祖母父:欧カロ系

種牡馬ロードカナロアは、消耗戦の当コースでの  
リーディングサイアーでございますが・・・  
母父にディープインパクトが入ってしまうと  
残念配合(条件戦が限界)になってしまいます。

万一、テイエムスパルダとジャスパークローネが  
ゲートで土下座して競走中止になり、前半のペースが  
上がらない展開になるようなら来るかもしれません・・・

#### 12番ドルチェモア【E評価】

父:ルーラーシップ

母父:ディープインパクト

血統の字面も、牝系ファミリーの実績も  
スプリント戦には決して向いておりませんな。

#### 13番ジャスパークローネ【A評価】

父:フロステッド(米APインディ系)

父母父:デピュティミニスター(米ND系)

母父:キトゥンズジョイ(米ND系)

祖母父:ゴーストザッパー(米ND系)

曾祖母父:APインディ(米ポールドルーラー系)

クロス:APインディ4×4、シアトルスルー5×5×5

ロベルト5×5

徹底的にスピードと持続力を強化された配合で、  
消耗戦の短距離戦を逃げ切るための配合馬ですな。

母父のキトゥンズジョイは、今年の優勝馬  
ジャンダルムの父でもあり、その源流はサドラーズウェルズ。

スタートセンスが抜群で、テンも二の脚も速く、  
テイエムスパルダと一緒に走ってもハナを奪われた事ありません。

鞍上の団野Jもスタートセンスが高い「逃げ巧者」で、  
直近1年間のスプリント戦で逃げた場合の成績は  
勝率57.1%/単回率69.4%  
複率71.4%/複回率218%

また、今回開催の中山芝1200mは逃げ天国で、  
逃げた馬の複勝率は62.5%/複回率233%

外目の枠に入り、テイエムスパーダが内枠に入りましたが  
センスとスピードでしっかりと先手を奪えるのではないかと。

夏の疲労は気になる所ですが、  
調教後の馬体重は16キロ増加しており、  
輸送で大きく減らなければプラス体重で出走出来そう。

#### 14番エイシンスポッター【要警戒】

父:エイシンヒカリ(ディーブ系)

父母:ストームキャット×欧カロ系×リポー系(セントサイモン系)

母父:バラシア(欧サドラーズ系×欧ハビタット)

祖母父:デインヒル(ダンチヒ×リポー系)

曾祖母父:ミルリーフ(欧ネヴァーヴェンド系)

父がディーブ系ではありますが、  
消耗戦のスプリント戦を差しに行く  
欧州的な末脚を持っております。

外枠に入りましたので、  
鞍上の腕と判断次第にはなりますが、  
鞍馬Sを勝った時のように外を回さずに、  
腹を括って内を捌いて追い上げて来るようなら、  
追込みが届いても驚けません。

#### 15番キミワクイーン【D評価】

父:ロードカナロア

母父:ダイワメジャー(Pサンデー系)

祖母父:サクラバクシンオー

曾祖母父:米ND系

クロス:ストームキャット3×5、ノーザンテースト4×5

血統の字面は、当コースの消耗戦に向いておりますが、なにせ持ち時計が遅いので、雨が降ってどこまでやれるか?といった所でございますか。

16番モズメイメイ【D評価】

父:リアルインパクト(ディープ系)

母父:トキオリアリティ(セントサイモン系×インリアリティ)

母父:フランケル(欧サドラーズ系×デインヒル)

祖母父:エンパイアメーカー(米ミスプロ系)

曾祖母父:ストームキャット

リアルインパクトの母トキオリアリティはどの種牡馬を付けても短距離馬を出す繁殖牝馬ですな。

ただ、本馬は逃げた方が成績が良く、大外枠から先手を奪えるほど甘い相手ではないのでユタカJがどんな競馬をするのか興味津々でございます。